

動物科学部通信

Vol.3
令和2年
1月

1月16日、17日の2日間にわたり、品川グランドホール東京食肉市場において第3回和牛甲子園が開催されました。大会1日目となる16日、朝早く田原を出発し品川へ移



張感漂う中、会場に到着しました。盛大に開会式が行われ、優勝旗返還や選手宣誓の後、各学校の取組発表会が始まりました。発表の持ち時間が7分と少ない中で、どの学校も和牛甲子園に向けて取り組んできた内容を発表しており、とても勉強になりました。本校生徒も学校の法被を羽織り、練習してきた成果を十分に発表することができました。1日かけて全30校の発表が終わり、その後、学校交流会が行われました。

第3回和牛甲子園を終えて



【2頭の結果】

しげよし号
A-5等級
BMSNo.9

とみた号
A-5等級
BMSNo.8



2日目には東京食肉市場において、肥育してきた牛の枝肉共励会が行われました。初めてのセリ、初めての食肉市場に、驚きの連続でした。本校の2頭も枝肉になつており、割つてみなければわからなかった肉質や脂肪の状態をみる事ができました。サシがきれいに入っており、おいしそうな牛肉になつた姿を確認できて安心しました。また、他校の枝肉と比べて少し背脂肪が厚いことが分かり、今後対策が必要であることも学ぶことができました。枝肉勉強会の後、本物の購入人さんたちを目前に、セリが始まりました。少しでも高値で買ってもらうため、参加生徒全員で「ワッショイ、ワッショイ」と声を出し、自分たちの枝肉をアピールしました。減多に参加することのできないことなので、貴重な経験となりました。今回の和牛甲子園では、枝肉部門、発表部門どちらも入賞ならず、全国から集まった高校牛児たちのレベルの高さを実感しました。この経験を今後の管理や活動に生かし、来年の第4回和牛甲子園入賞を目指して、これから頑張っていきます。



今月の動物情報

今年の和牛甲子園は終わったばかりですが、同時に第4回大会出品予定牛の出荷まで残り1年を切りました。次回大会ではこちらの2頭を出品予定で、現在の月齢約19か月で、日に日に大きくなっています。今後の牛たちの成長に期待しましょう。



参加した専攻生の感想

和牛甲子園に参加して、命を育てる責任感、大切さを知ることができました。出品した2頭の牛はA5をとれてうれしかったです。

3A 岡田奈央
初めて和牛甲子園に参加してみて、他校と自分たちがどう違うかを知ることができました。今よりも、より牛について知ることができ、命への感謝を改めて持つことができました。

3A 的場愛佳
初めて和牛甲子園に参加してみ、他校と自分たちがどう違うかを知ることができました。今よりも、より牛について知ることができ、命への感謝を改めて持つことができました。

